

令和4年度自己評価結果公表シート

作成 手形山幼稚園

1、本園の教育目標

元気に生き生きと活動し情操豊かで思いやりのある子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・本学園で取り組んでいる運動や音楽リズム・表現遊びの研究を深めて、相互に向上心を持ちながら質の高い保育を目指す。
- ・指導計画、週日案を丁寧に計画し、環境設定や援助の在り方を学んでいく。幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成を目指すと同時に、幼児の活動がより豊かになるように活動の展開に応じて環境を再構成する。また、積極的に情報・意見交換を行い、情報を共有できるように努める。
- ・教師一人ひとりが主体的に自己研修に取り組み、さらに資質向上を目指す。

3、評価項目の達成および取り組み状況

	評価項目	結果	取り組み状況の反省
学園の重点項目	教育目標の具現化に向け、学園独自の研究を総合的に取り入れ、保育を計画・実践する。	B	運動・絵画・表現ともに、子どもたちの自発性を追求した新しい取り組みを進めてきたことで、子どもたちが躊躇したり、戸惑ったりすることなく活動に参加できていた。バランスよく展開できた分、総合的に絡み合っただけで生活を支えていることを、実感できるよう振り返りも大事に行いたい。
自園の重点項目	園の環境を生かし、オープン保育やコーナー遊びを取り入れた保育をしている。	B	教育課程に基づき月案や週案などを立案する際、学年で綿密な話し合いがなされていた為、クラスの枠にとらわれない保育活動の展開ができた。今後は園全体での遊びを投げかけたり、設定したり、きっかけづくりをするなど、学年からさらに視点を広げた援助を心がけていきたい。
	主体的に研修に取り組み、さらに向上しようとする。	A	教師一人ひとりが自分の不得意な分野や、更に高めていきたい特技などの課題に主体的に取り組んでくることができた。また、学んだことを様々な形で子どもたちへ還元してきたことで保育の充実に繋がった。

4、学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結 果	理 由
B	<p>昨年同様、コロナ禍においての様々な変化があったが、より柔軟な計画の立て方や、臨機応変に対応できる教師の資質向上など例年以上に学びも多く、教師が成長できる一年となった。特に、月案や週案を計画する際には、先が見えにくい日々の中でも、様々な状況を見通して計画する力を養うことができた。その指導計画に沿った活動は、子どもたちにこれまで以上に豊かな環境を与えることができた。</p> <p>また、今年度は教師一人ひとりが自分の不得意な分野や、更に高めていきたい特技などの課題に主体的に取り組んできた。教師間でその成果を見せ合ってきたことで、さらに個々の意欲に繋がった。今後も、教師としてだけでなく、人として成長できる集団となれるように努めたい。</p>

※3、4の評定結果の表示方法

- 【A】…十分達成されている。【B】…達成されている。【C】…取り組まれているが、成果が十分ではない。
 【D】…取り組みが不十分である。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をし、幼児の活動がより豊かなになるように活動の展開に応じて環境を再構成する。</p>	<p>園の教育目標や教育課程から、期・月・週のねらいや活動内容を教師同士で確認し、子どもの姿を予想しながら、「今」にふさわしい計画を立てていく。また、その結果を受けて次の計画を見直し、立案から実施までの流れを途切れなく進めていく。</p>
<p>幼児のことについて保育者同士で話し合い、クラス・学年を越えてティーム保育を展開する。</p>	<p>教師間で子どもについて話し合い、現状や課題を共通理解しながら保育に向かってきた。この経験を活かし、子どもたちが主体的に関わる環境や教師の意図的な援助や環境はどうあるべきか、学クラス・学年にとどまらず園全体で取り組んでいきたい。</p>